

〔 短 歌 。 俳 句 。 川 柳 〕

本誌編集室担当

短 歌

若き頃歳を気にせず生きて来た
今となりては妙に懐かし

●宮古市 太田屋滋

ふた昔いわれるほどの年かさね
愉快な仲間楽しやシルバー

●富谷市 岡崎ミチ子

年明けも感染戦争物価高

老いて静かな暮しを阻む

●富谷市 佐藤英克

衰える気力掻き立て再会し

生きる力を分かち合いたり

●印西市 山田 明

紅梅の蕾明日かと色染し

かすむ山裾今なつかしき

●福知山市 岬尾 充

星月夜輝く空に小雪舞う

見上げる天に心安まる

●愛媛県北町 岸本繁義

雪溶けて梅一輪が春を呼ぶ

●綾部市 岩瀧憲一

折々の申すニニ

俳 句

大浪に鯰二尺や寒の河

●神栖市 安澤宏介

受験生みんなに届けサクラサク

●鹿沼市 大貫秀雄

豆乳のカップ重たく風邪心地

●小山市 原田利江

ゆるやかな歩みに合はせ梅の花

●本庄市 長谷川千鶴子

退職の友へのギフト選ぶ春

●草加市 長谷部禎子

寒鴉石柱だけの茶室あと

●戸田市 篠崎志津子

園庭に陽炎ゆれて昼寝時

●朝霞市 林 則雄

立春を迎える日の出ほど遠く

●東京都葛飾区 東海洋一

おゝ寒む亀の真似して首縮め

●佐世保市 橋口文字

さくら咲くひとり呑む酒花見酒

●狛江市 望月哲司

小春日に平和と元氣噛みしめる

●武蔵村山市 原野晴光

ドリップの滴る時まつ亀鳴けり

●平塚市 田中博由

爽やかな春一番に舞う落葉

●須坂市 関 光男

手造りの大風小風田に上げる

●塩尻市 大家協治

三学期始業下駄箱響めけり

●塩尻市 奥原光夫

家々を巡り門松納めけり

●塩尻市 小野正平

満天の星のまたたき虎落笛

●塩尻市 町田まさ子

寒明けの天地返しに湯気立ちぬ

●野洲市 若松能夫

なじめない立化粧する男たち

●鎌ヶ谷市 三浦章忠